

M乗数の数列の和の公式を求める場合で  $1^n$  から  $10^n$  までの和の数値の素因数分解の表から何が読みとれるのかについて考え直しました。数値の有効活用は大切な視点だからです。

$M=1, M=2, M=3$  の数列の和の公式はすでにわかっているものとして考えます。素因数分解の表はプログラムを作り計算機を求めました。

### $n=10$ の数値の素因数分解の表

$M=1$	$5 \times 11$	$\frac{1}{2} n (n+1)$
$M=2$	$5 \times 7 \times 11$	$\frac{1}{6} n (n+1) (2n+1)$
$M=3$	$5 \times 5 \times 11 \times 11$	$\frac{1}{4} n^2 (n+1)^2$
$M=4$	$7 \times 7 \times 11 \times 47$	
$M=5$	$5 \times 5 \times 11 \times 11 \times 73$	
$M=6$	$5 \times 11 \times 13 \times 2767$	
$M=7$	$5 \times 5 \times 11 \times 11 \times 43 \times 139$	
$M=8$	$7 \times 11 \times 17 \times 97 \times 1321$	
$M=9$	$5 \times 11 \times 11 \times 109 \times 23873$	

$M=9$  までなのは私の計算機の有効桁数が10桁だからです。

何がわかるのか? 5, 7, 11 が多し。ここから始めます。

$M=1 \sim M=3$  までの和の公式と対応させてみます。

$$\begin{array}{llll}
 M=1 & 5 & \times & 11 & \frac{1}{2} n (n+1) \\
 M=2 & 5 & \times & 7 & \times & 11 & \frac{1}{2} n \frac{1}{3} (2n+1) (n+1) \\
 M=3 & 5^2 & \times & 11^2 & \left(\frac{1}{2}\right)^2 n^2 (n+1)^2
 \end{array}$$

$$5 \rightarrow 10 \div 2 \rightarrow \frac{1}{2} n$$

$$11 \rightarrow 10 + 1 \rightarrow n + 1$$

$$7 \rightarrow 21 \div 3 \rightarrow \frac{1}{3} (2n+1)$$

と考えることが出来ます。

11の数を調べます。 1  $\rightarrow$   $M=1, M=2, M=4, M=6, M=8$

2  $\rightarrow$   $M=3, M=5, M=7, M=9$

2  $\rightarrow$  のグループに分けることが出来ます。 4, 6, 8 という偶数の

場合は1つ。5, 7, 9, という奇数の場合は2つです。

7は  $M=2, M=4, M=8$  という偶数の場合にあります。

このことから、 $M$ が偶数の時は  $M=2$ の要素を  $M$ が奇数の時には

$M=3$ の要素があると考えることが出来ます。

$M=4$ から  $M=6$ について考えてみます。

$$M=4 \quad 7 \times 7 \times \frac{11}{3} \times 47$$

$$\quad \quad \quad \downarrow \quad \quad \downarrow$$

$$\quad \quad \quad \frac{1}{3}(2n+1) (n+1)$$

5 がかけられています。  $\frac{1}{2}n$  の部分です。

$n=10$  と 1 に 5 の  $\frac{1}{10}n$  を予想できます。  $\frac{1}{2} \times \frac{1}{5} = \frac{1}{10}$

残りは 7 と 47 です。  $7 \times 47 = 329$

$$\frac{1}{10}n (n+1) \frac{1}{3}(2n+1) \quad [329 \text{ の意味する式}]$$

式の次数を調べます。

$$\frac{1}{30}n (n+1) (2n+1) \quad \text{:= 最大で 3 次式です。}$$

① ② ③

$M=1 \rightarrow$  2 次式  $M=2 \rightarrow$  3 次式  $M=3 \rightarrow$  4 次式 となります。

$M=4$  は 5 次式になります。 [329 の式] は 2 次式です。

$n^4$  の和 /  $n^2$  の和 の  $n=10$  の数値は  $65\frac{4}{5}$  と  $329 \div 5$  に対応しています。

$M=5$  の場合は  $5^2$  と  $11^2$  は 5 と 11 のとりあつかい方がです。  $M=5$  となる 6 次式で  $5^2$  と  $11^2$  の部分は 4 次式です。

73 の部分を 2 次式にするには、 $\times 2, \times 3, \times 4 \dots$  を考える必要があります。  $73 \times 2 = 146$   $73 \times 3 = 219$   $73 \times 4 = 292 \dots$

$M=6$  の場合は 7 がかけられています。

$$\frac{1}{2}n (n+1) \frac{1}{3}(2n+1) \frac{1}{7}$$

① ② ③  $13 \times 2767 = 35971$  (4 次式)  
(残りは  $6+1-3=4$ )

林 邦英